

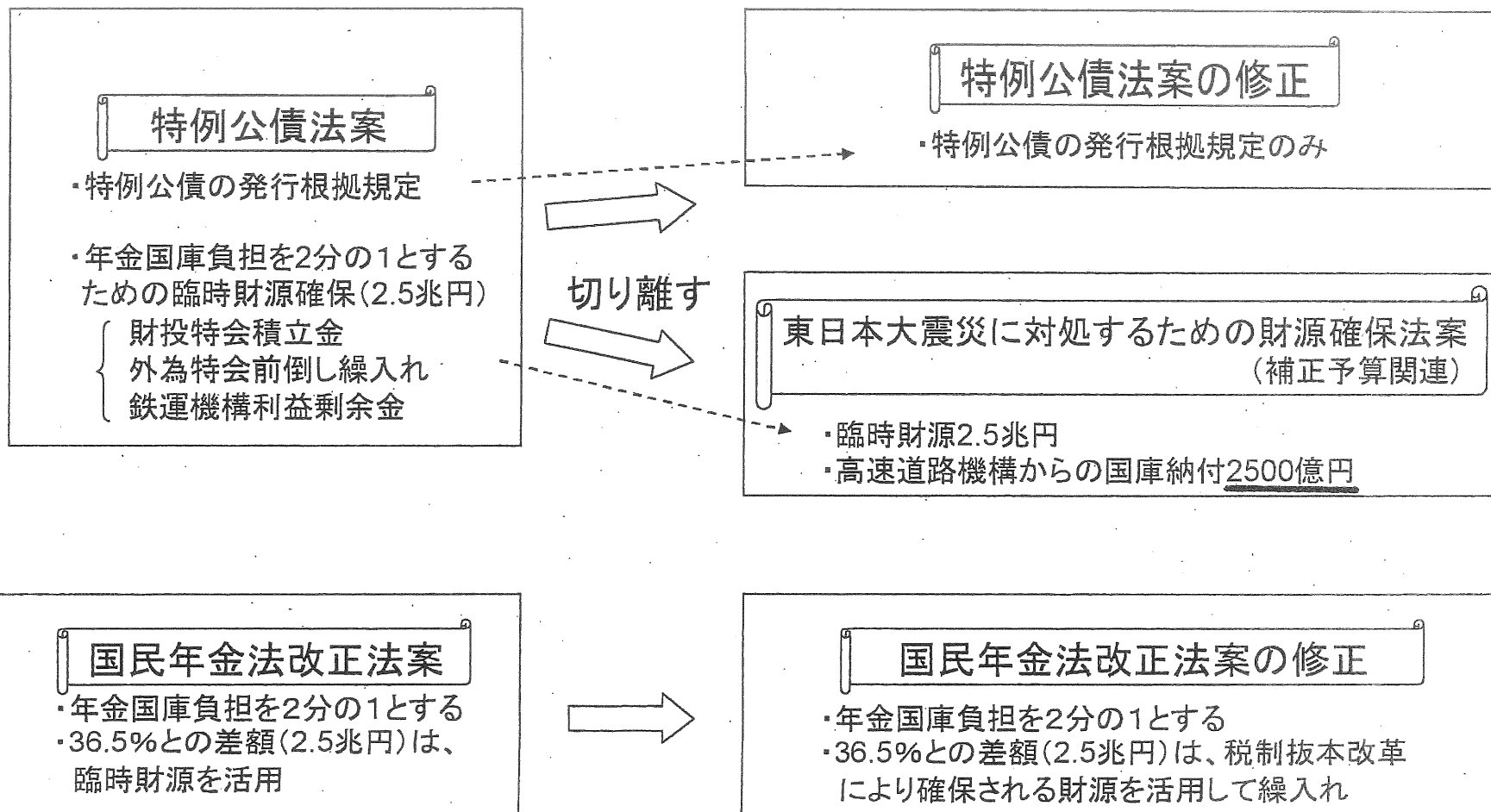
最近の高速道路関係の状況

23年度補正予算の財政需要と財源

(単位:億円)

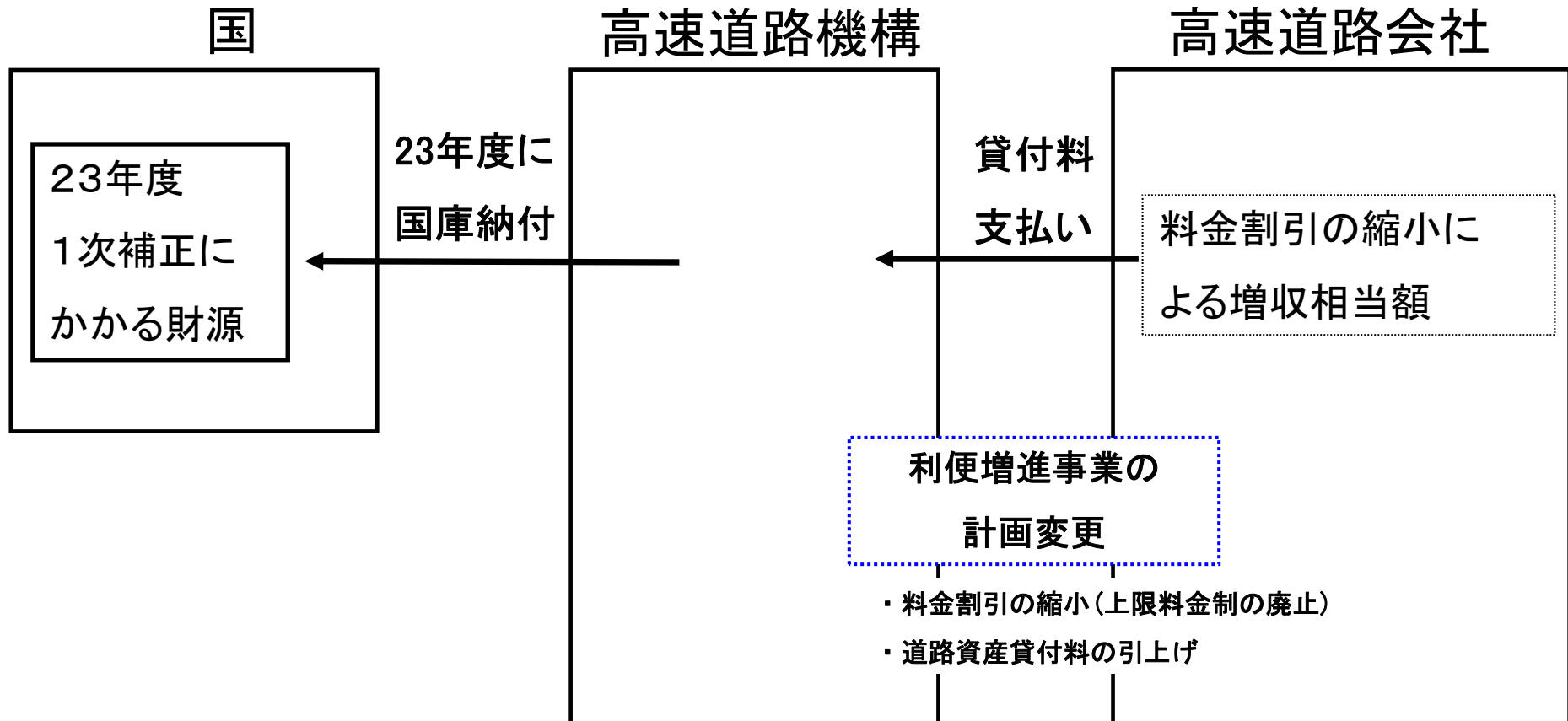
財政需要	財源
災害救助等関係経費	子ども手当上積みの見直し
4,829	2,083
〔仮設住宅等の災害救助費、災害援護貸付、生活福祉資金貸付、災害弔慰金等〕	高速道路無料化社会実験の一時凍結
	1,000
災害廃棄物処理事業費	高速道路料金割引(利便増進事業)の見直し
3,519	2,500
災害対応公共事業関係費	年金臨時財源の活用
12,019	24,897
〔道路、港湾、下水道、住宅、農地等〕	周辺地域整備資金(エネ特)の活用
	500
施設費災害復旧費等	ODA関連予算の一部縮減
4,160	501
〔学校施設、社会福祉施設等〕	国会議員歳費の削減
	22
災害関連融資関係経費	公共事業直轄負担金
6,407	551
地方交付税交付金(特別交付税)	経済予備費による調整
1,200	8,100
その他東日本大震災関係経費	
8,018	
〔緊急雇用支援、自衛隊活動費、医療保険減免等〕	
合 計	合 計
40,153	40,153

特例公債法案と補正予算の財源確保に係る法的手当て



高速道路料金割引(利便増進事業)の見直しによる補正財源確保(2500億円)について

「東日本大震災に対処するために必要な財源の確保を図るための特別措置に関する法律案」第5条等において規定。

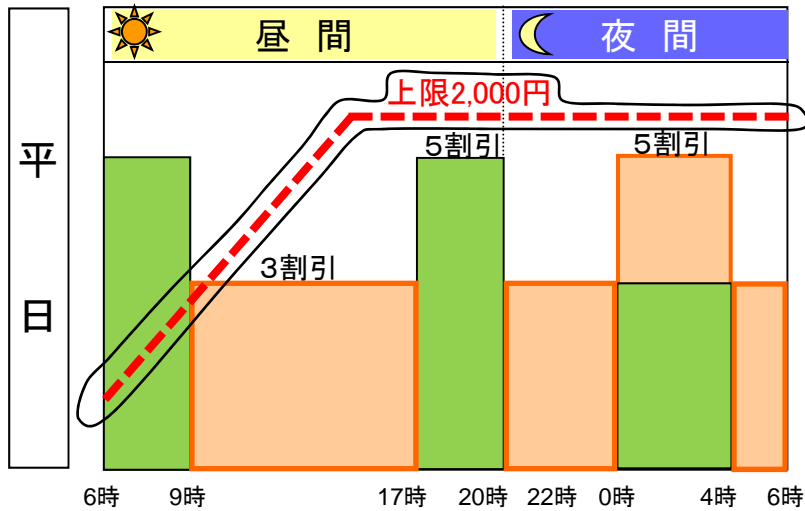


(注) 高速道路機構の資金繰りのため、国は、政府保証による支援を行う。

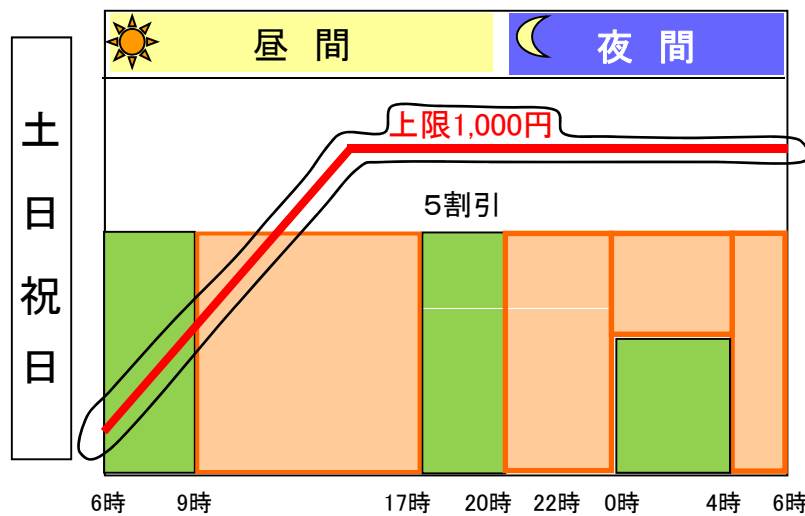
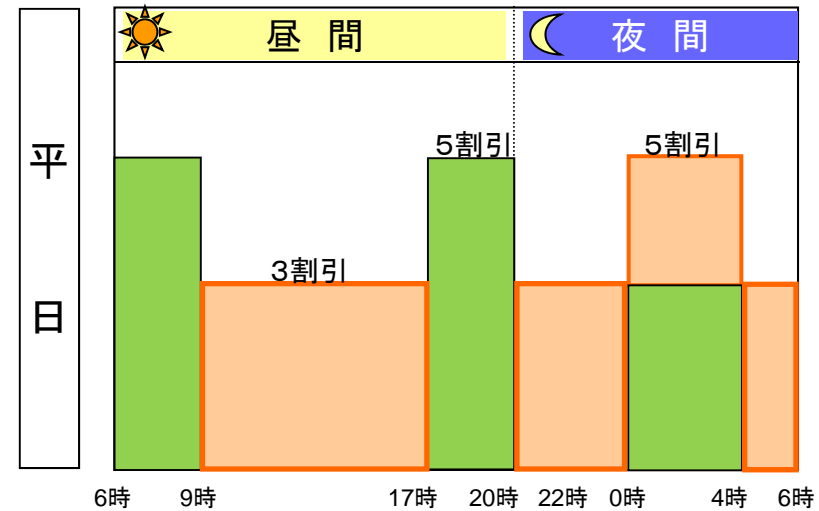
現行の料金割引と財源 (NEXCO地方部の例)

普通車以下

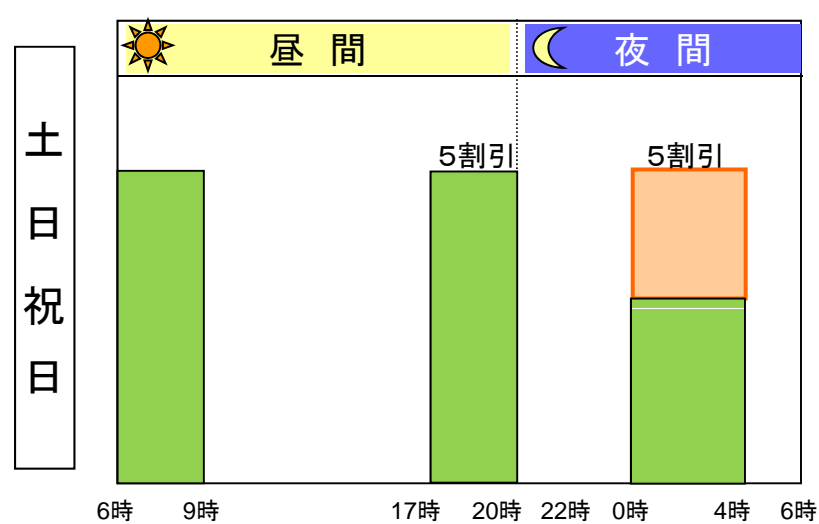
中型車以上



導入せず



廃止



■ : 既存の会社割引

■ : 利便増進事業

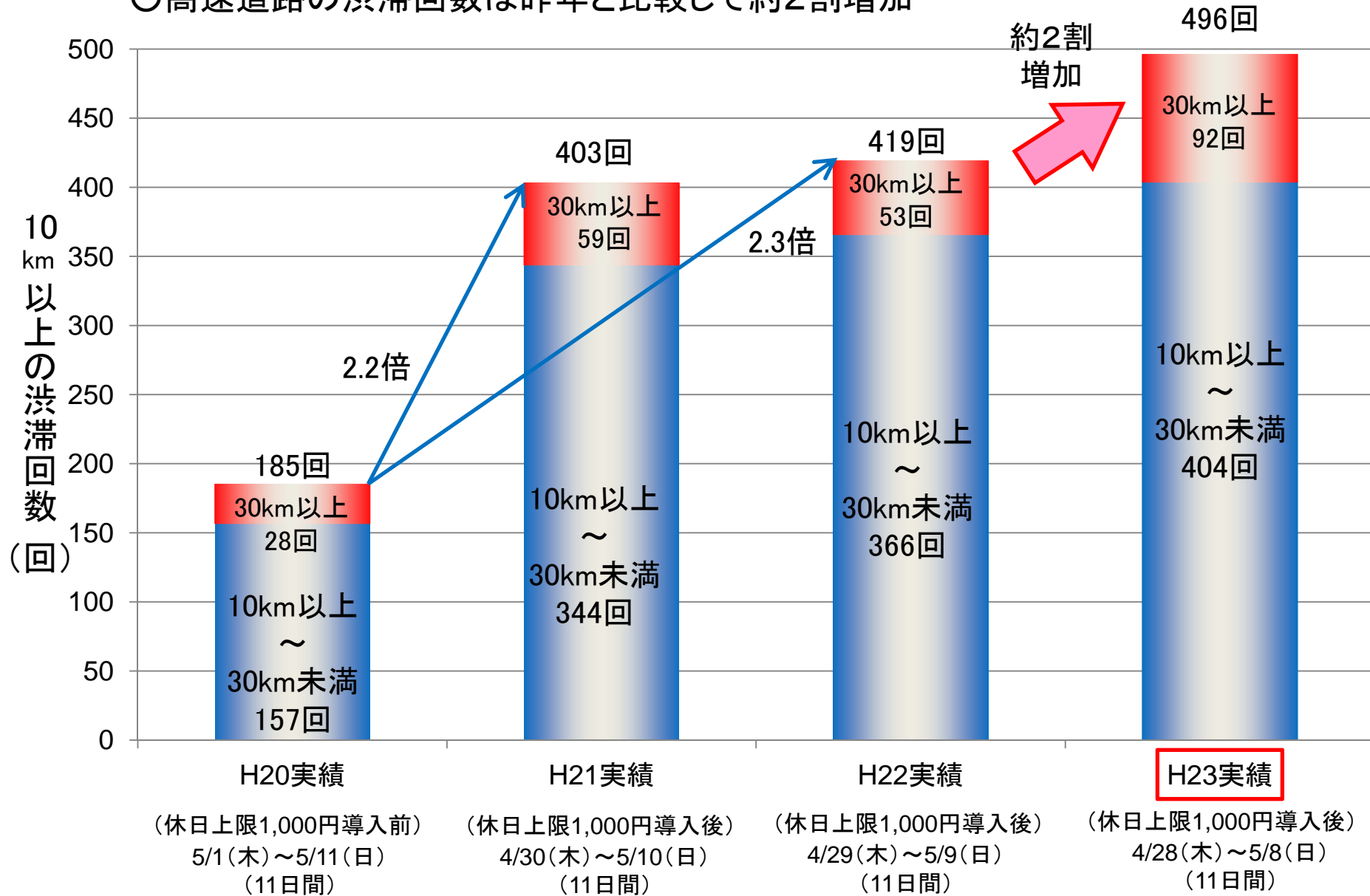
休日の料金例（普通車、昼間利用の場合）

区間		現在 (休日1000円)	上限料金廃止 (休日5割引※)	(参考) 休日5割引※を 廃止した場合 (割引なし)
N E X C O	大泉IC～湯沢IC	1,850円	2,500円	4,600円
	東京IC～浜松IC	1,750円	2,850円	5,350円
	岡山IC～鹿児島IC	1,000円	7,150円	14,300円
	吹田IC～長野IC	1,850円	4,750円	9,050円
	名古屋西IC～広島IC	2,500円	5,200円	9,750円
本 四	A 神戸淡路鳴門自動車道 (神戸西IC～鳴門IC)	1,000円	2,725円	5,450円
	D 瀬戸中央自動車道 (早島IC～坂出IC)	1,000円	2,050円	4,100円
	E 西瀬戸自動車道 (西瀬戸尾道IC～今治IC)	1,000円	2,350円	4,700円

※大都市部(首都圏、阪神圏)は3割引 5

平成23年ゴールデンウィークの渋滞状況①（10km以上の渋滞回数）

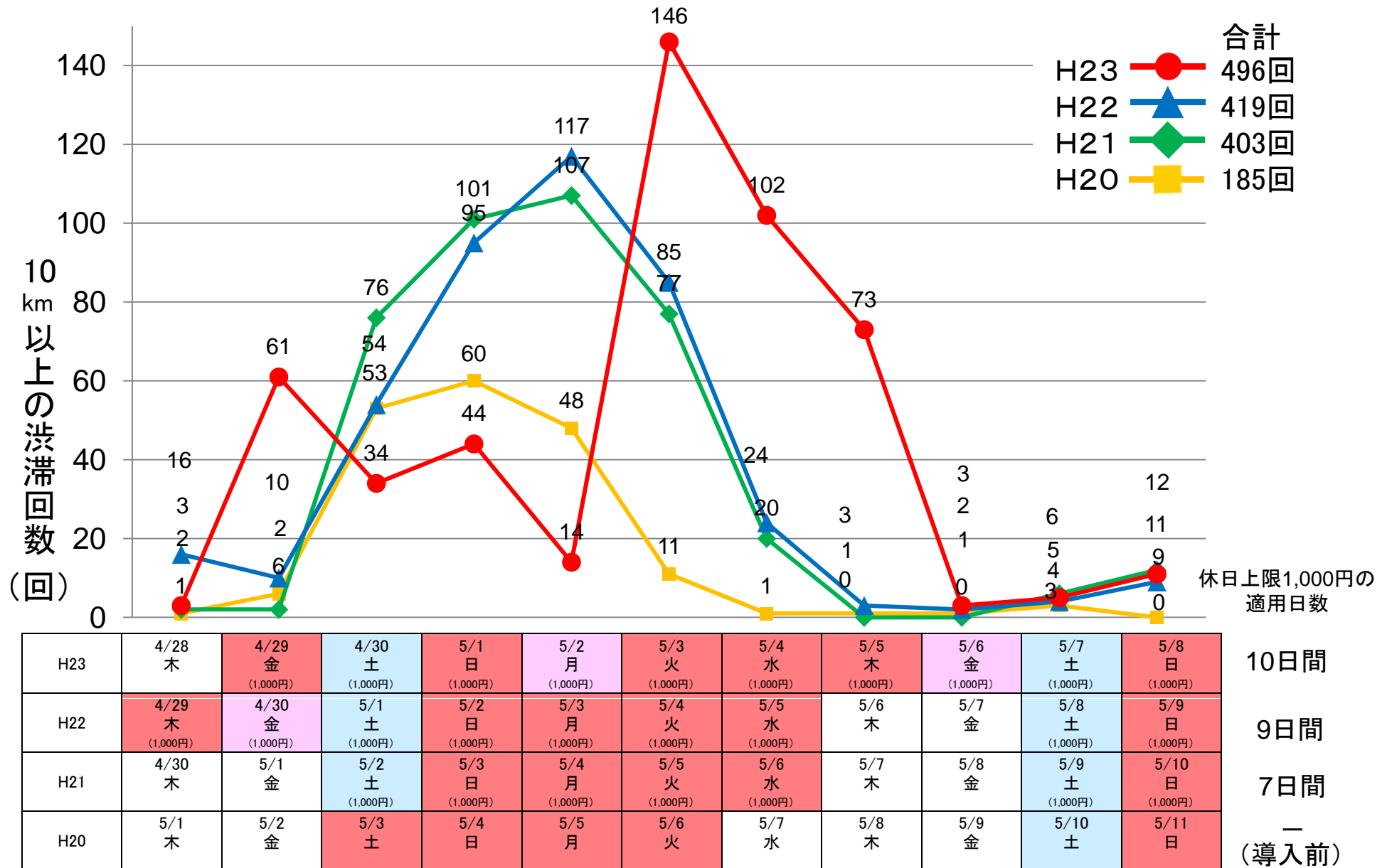
○高速道路の渋滞回数は昨年と比較して約2割増加



※渋滞: 40km/h以下

※NEXCO・本四高速の管理する高速道路を対象

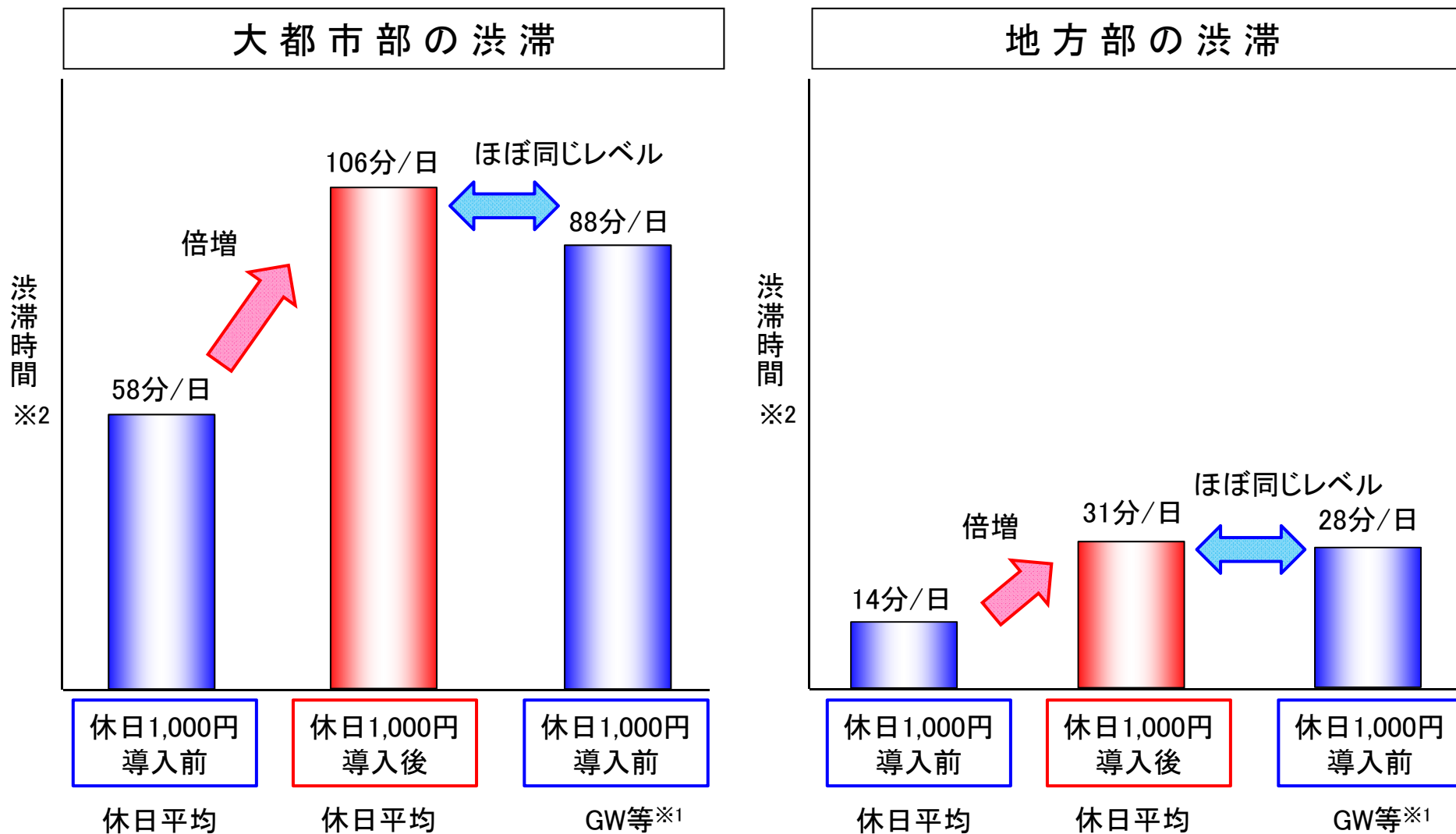
平成23年ゴールデンウィークの渋滞状況② (10km以上の渋滞回数)



※渋滞: 40km/h以下
 ※NEXCO・本四高速の管理する高速道路を対象

休日1,000円導入前後の渋滞比較

○ 休日1,000円導入後、毎週ゴールデンウィーク並みの渋滞が発生



※1 GW、お盆、SW、年末年始の繁忙期

※2 高速道路(NEXCO)のVICSデータをIC単位で集計し、総渋滞時間(40km/h以下となった時間)をIC間数で平均したもの